

プロテインキナーゼA触媒サブユニットβ、活性型ヒト、再組換え

Cat. No. NATE-0572

Lot. No. (See product label)

はじめに

明 cAMP依存性プロテインキナーゼ触媒サブユニットベータは、ヒトではPRKACB遺伝子によってコードされる酵素です。cAMPは、さまざまな細胞機能に重要なシグナル伝達分子です。cAMPは、異なる標的タンパク質のリン酸化を通じて信号を伝達するプロテインキナーゼA (PKA) を活性化することによってその効果を発揮します。PKAの不活性ホロ酵素は、2つの調節サブユニットと2つの触媒サブユニットからなるテトラマーです。cAMPは、不活性ホロ酵素を、4つのcAMPに結合した調節サブユニットのダイマーと2つの自由な単量体触媒サブユニットに解離させます。ヒトでは、4つの異なる調節サブユニットと3つの触媒サブユニットのPKAが同定されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Ser/Thrプロテインキナーゼファミリーのメンバーであり、PKAの触媒サブユニットです。異なるアイソフォームをコードする3つの選択的スプライス転写異体が観察されています。

用途 キナーゼ活性は、30°Cで50 μM [32P] ATPの最終濃度を使用して、1分あたりおよび1 mgのタンパク質あたりCREBtide基質ペプチドに取り込まれたリン酸のモル量として測定されます。

別名 PKA触媒サブユニットβ、活性型ヒト; PKA-Cβ; cAMP依存性プロテインキナーゼ; PKACB; PRKACB; PKA C-ベータ; プロテインキナーゼA触媒サブユニットβ

製品情報

種	人間
由来	バキュロウイルスに感染したSf9細胞
形態	緩衝された水性グリセロール溶液
分子量	protein apparent mol wt ~65 kDa
純度	> 85% (SDS-PAGE)
緩衝液	5 μgを50 mM Tris-HCl、pH 7.5、150 mM NaCl、0.25 mM DTT、0.1 mM EGTA、0.1 mM EDTA、0.1 mM PMSFおよび25%グリセロールの溶液として供給されます。
代謝経路	AMPKシグナル伝達、特定の生物系; グルタミン酸結合によるNMDA受容体の活性化と後シナプスイベント、特定の生物系; 適免疫系、特定の生物系; アメーバ症、特定の生物系; アメーバ症、保存された生物系; アンフェタミン依存症、特定の生物系; アンフェタミン依存症、保存された生物系
機能	ATP結合; cAMP依存性プロテインキナーゼ活性; マグネシウムイオン結合; ヌクレオチド結合; プロテイン結合; プロテインセリン/スレオニンキナーゼ活性; ユビキチンプロテインリガーゼ結合

保管・発送情報

安定性 -70°C